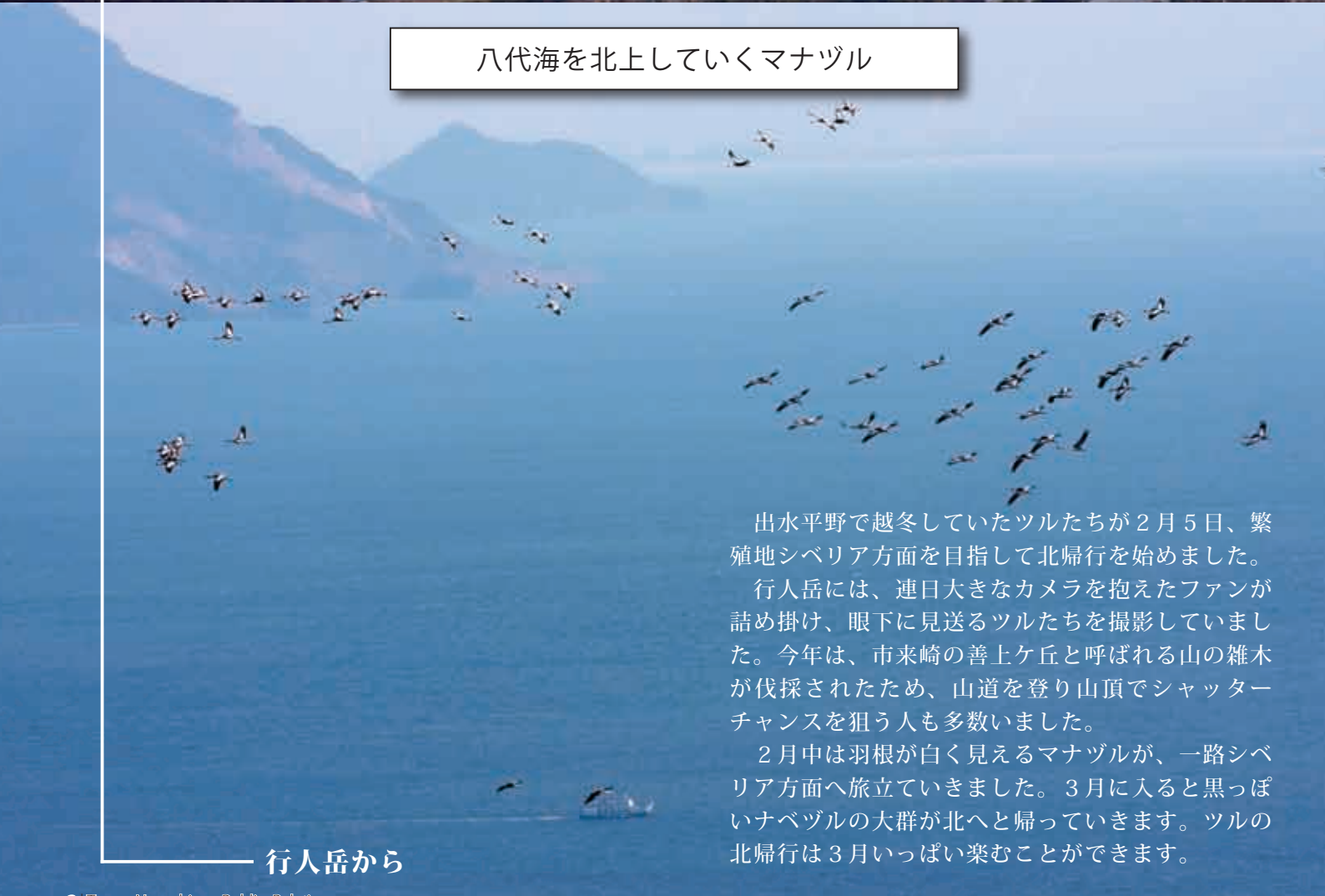




マナヅルが伊唐上空を北へと旅立っていく



八代海を北上していくマナヅル

出水平野で越冬していたツルたちが2月5日、繁殖地シベリア方面を目指して北帰行を始めました。

行人岳には、連日大きなカメラを抱えたファンが詰め掛け、眼下に見送るツルたちを撮影していました。今年は、市来崎の善上ヶ丘と呼ばれる山の雑木が伐採されたため、山道を登り山頂でシャッターチャンスを狙う人も多数いました。

2月中は羽根が白く見えるマナヅルが、一路シベリア方面へ旅立っていきました。3月に入ると黒っぽいナベヅルの大群が北へと帰っていきます。ツルの北帰行は3月いっぱい楽しむことができます。

行人岳から